語学講座スケール表　現在のレベルと次に目指したいレベル

	会話系	知識系
マスター	その言語を変幻自在に操ることができる 会議、セミナー、プレゼンテーションなどで複雑な内容を説明できる 討論・議論はもちろん、独自のスピーチスタイルを存分に堪能できる	「生きた構文」を自由に描写することができる 文法・語法に関してほとんど問題を感じない 新聞・雑誌などをどんどんと読み進めることができる（TOEIC 900）
★★★★★	自分の意見を順序だてて説明することができる 会議、セミナー、レポート、プレゼンテーションに対応できる 討論・議論に参加することができる	豊富な語彙を使ってさまざまな構文を組み立てられる 文法・語法に対する知識も豊富になっている 新聞・雑誌などを辞書なしでも大半理解できる（TOEIC 850）
★★★★☆	自分の意見を一応順序だてて説明することができる 問題点を整理し、適切に説明することができる ネイティブの質問にすばやく応答し、会話を持続させることができる	多くの語彙を使って文章を組み立てられる さまざまな文章技術を駆使して論理的に表現できる 言語能力が着実に育っているのが実感できる（TOEIC 750）
★★★★	ネイティブが話す自然のスピードについていける 電話で自分の意思を伝えることができる ネイティブの質問に対応できる	複雑な文法事項については少々戸惑うことがある 慣用句を作文に活用できる 自分の考え方を何とかまとめあげることができる（TOEIC 650）
★★★☆	予測できなかった話題に柔軟に対応できる 論理的に考えをまとめ、より滑らかに話すことができる 伝言の受け渡しができ、また適切な指示を出せる	文法・スペルなどの間違いはかなり少ない 長い文章を書くのに慣れてきた さまざまな文章構造もかなり身についた（TOEIC 550）
★★★	ネイティブとの対話を何とか楽しむことができる 状況に応じた判断能力が育っている 自分の考え方をそこそこ表現できる	文法・スペルなどの間違いがたまにある 長い文章を書くのに時間がかかる 文章構造も何とか理解できる（TOEIC 450）
★★☆	会話をある程度持続できる 「耳慣れ」に勢いがついてきたのが実感できる 自分の行為・行動に加えて、出来事・体験などを何とか表現できる	文章構造のぎこちなさがかなり解消された 文法・スペルの間違いが少なくなった 日常的な語彙がいっそう身についた（TOEIC 350）
★★	予測可能な日常生活の場面で伝えたいことが言える リスニング能力を高める必要性を感じる 自分の行為・行動を最低限に描写できる	文章構造が少々ぎこちない 文法・語法・スペルの間違いがまだある 日常的な語彙はかなり習得している（TOEIC 250）
★☆	簡単な会話を楽しむことができる 与えられた質問に対し最低限の返答ができる ペアーワークやグループワークにも慣れてきた	基礎的な語彙に関してはかなり習得できている 基本的な文章構造がかなり身についた 発声や語形態のしくみをかなり学習できた
★	旅行先で使われる簡単な会話ができる 最低限の意思表示に少々練習が必要である ペアーワークやグループワークにたじろいでしまう	基礎的な語彙を覚える必要がある 基本的な文章構造にも不安がある 発声や単語のしくみを知る
☆	演習総合 初心者のための基礎文法をかためる ごく基本的な語彙から始める 発音の仕方、文字の書き方の基礎を習う	

英語講座レベル	入門1	入門2	初　級	初中級	中　級	中上級	上　級
TOEFL®iBT				46	61	80	100～120
TOEFL®ITP				450	500	550	600～677
TOEIC	100	200	300	400	500	600～700	800～990
英　検	5級	4級	3級	準2級	2級	準1級	1級

スケール表とは

このスケール表は、5つのレベルを教育の柱としています。★:初心者、★★:初級、★★★:中級、★★★★:中上級、★★★★★:上級又はマスターレベルです。また、5つのレベル以外にも星半分（☆）というレベルも設けました。これは、レベルとレベルの間にあるどうしてもカバーしておきたいスキルがあるためです。例えば英語であれば、細かくレベル分けをすることで受講者の要望に十分にお応えし、他の言語では、春期は★★から始め、秋期を★★☆、次年度には★★★から始められるように設計しているというわけです。

受講を検討中の皆様には、このスケール表を見ながら、ご自身で年間あるいは、2年、3年計画で受講計画を立ててくださればと考えております。各期毎にステップアップしていくことも、あるいは一定のレベルに留まってゆっくり繰り返し学んでいく方法など、このスケール表を是非皆様の目標に合わせてご活用ください。